地域リハビリテーション推進のための取り組みに関する令和５年度の目標または重点的な取り組みについて　意見まとめ

資料８

啓発・啓蒙に関すること	研修等に関すること	他機関との連携に関すること
（船橋薬剤師会） ３年間のコロナ禍で閉じこもりがちだった高齢者や障害者に足腰の衰えやロコモティブシンドロームについて、店頭やイベント、チラシの配布などで啓蒙していきたい。	**（千葉県理学療法士協会）** 既存の情報を含めた情報の整理と発信の工夫 所属団体ではなく、理学療法士個人に直接連絡できるシステムを検討する。	**（船橋市介護支援専門員協議会）** ケアマネ不足が叫ばれている現状を踏まえ、船橋市と連携しながら市内の介護支援専門員の実態把握を実施していく。
（船橋薬剤師会） 社会福祉協議会や自治会などとも協力して高齢者や障害者の足腰の衰えや熱中症など啓蒙していきたい。		
（船橋薬剤師会） お薬の副作用による嚥下障害やふらつき等があること等を店頭やチラシなどで啓蒙していきたい。	**（千葉県理学療法士協会）** 新たに地域リハへ参画したい人材の募集 船橋市が求めるリハ職像の共有の研修会を開催し、ご賛同いただける方々でメーリングリストを作成して情報共有する。	**（船橋市介護老人保健施設協会）** 交流会などの開催や施設間でのネットワークによる情報共有や連携の強化。
（船橋市介護支援専門員協議会） コロナ禍においての入退院連携が十分な情報連携ができなかった現状も踏まえ、今後の連携では、地域でのシームレスな連携構築が取り戻せるよう、船橋在宅医療ひまわりネットワークで作成している、在宅医療・介護連携の心得の周知・啓発に取り組んでいく。	**（船橋市介護支援専門員協議会）** 新型コロナが５類に移行した状況下であるが、会員に対し今後も感染予防対策を講じた対応を継続し、感染拡大を予防できるよう促していく。	**（船橋市介護老人保健施設協会）** 地域ケア会議への参加。
（船橋市介護老人保健施設協会） 地域住民に向けた介護予防事業等足腰の衰えチェック事業への参加と地域住民や事業所へ活動の周知。	**（船橋市介護支援専門員協議会）** ICTを活用した研修会の開催を継続して行くが、事業所や個人の持つ通信環境等によって差があり、参加方法によっては参加が難しい人がいるため、船橋市との共催での参集型研修や今後の感染状況なども勘案しながら、ICTを併用したハイブリッド型研修会など開催方法にも工夫しながら取り組んでいく。	**（船橋市介護老人保健施設協会）** 医療と介護の連携による急性期～生活期リハビリテーションでの切れ目のなく、ライフステージに応じた提供とすみ分け。
（船橋市リハビリセンター） 地域リハビリテーションの普及啓発 地域リハ拠点事業（研究大会・地区勉強会・摂食栄養サポート勉強会・介護職員向け勉強会等）を通して他団体と協力し、あるいは、リーフレットや刊行物の発行を通して、地域リハビリテーションの普及啓発を図る。	**（船橋市介護支援専門員協議会）** 独居高齢者、ゴミ屋敷、精神疾患などケアマネジャーの業務が多岐に渡っており、バーンアウトしない為の取り組みや研修を通じてスキルアップを支援していく。	**（船橋市立リハビリテーション病院）** 地域で働く多職種のことを理解し、地域の人に対してリハ視点の発信ができるよう地域リハ活動の企画運営に参画する。
（市健康づくり課） コロナ禍により中止・縮小していた各一般介護予防事業の再開・拡大 ふなばしシルバーリハビリ体操推進事業 コロナ禍において縮小していた市主催の体操教室の実施回数や実施時間を６月以降拡大して参加者数10,000人を目指すとともに、中止していた指導士養成講習会も再開し、新たに90名程度の指導士を養成することを目標とする。 足腰の衰えチェック事業 対象年齢や対象地区を拡大したことにより、利用対象者数が約16,000人から約40,000人に増加する見込みである。 市民ヘルスミーティング コロナ禍により令和2年度以降は開催を中止していたが、令和4年度に実施した船橋市健康スケールのデータを用いた事業評価における地区分析等を活用し、市民と一緒に地域の健康課題を考える場を、市内各地区の公民館等において11月より再開する。	**（船橋市老人福祉施設協議会）** 社会福祉法人は、地域における公益的な取り組みが責務化されているところであるが、現在、新型コロナウイルスの影響により、地域に対する取り組みが十分になされていない法人、施設が多くあることが課題である。令和5年度においては、世の中の動向を注視しながら、地域に対する公益的な取り組みを少しずつ、進めていくことを目標とする。	**（船橋市リハビリセンター）** 障がい児者・医療的ケア児支援体制ネットワーク構築への協力 ひまわりネットワークの活動を通じて、障がい児者・医療的ケア児の支援者のネットワーク構築や支援の質向上に向けた研修会開催等の協力ができる。
	（船橋市立リハビリテーション病院） 地域包括ケアの推進に向け、病院職員が一体感を持って取り組むことができるよう、地域リハ活動への職員の参加を推進する。	**（船橋市リハビリセンター）** 船橋市の人材確保に向けた取り組み 豊富高校に福祉コースが設置され、外部機関との連携を推進するコンソーシアムを設置するとのこと。豊富高校との連携の在り方について、一緒に検討できると良い。また、高校生と接する機会が持てるのであれば、講師派遣等行うことができる。
		（市地域包括ケア推進課） 船橋在宅医療ひまわりネットワーク地域リハ推進委員会において、地域の専門職向けに「地域リハビリテーション」の正しい理解と普及啓発のため、地域リハビリテーションの「心得」づくりの作業を行うこととした。
	（市地域包括ケア推進課） 船橋市在宅医療ひまわりネットワークでは、今年度実践活動発表会を開催し、職能団体や各機関にて実践している活動を共有する機会を設ける。	**（市健康政策課）** 地域リハビリテーション拠点事業を行っている船橋市リハビリセンターと連携し、船橋市の地域リハビリテーションを市民に広めるための活動を行う。

※第35回地域リハビリテーション協議会において、令和5年度の地域リハビリテーション推進のための目標または重点的な取り組みについて、各団体様にアンケートを実施する旨決定しました。本資料は頂戴したご意見をまとめたものです。